

⚠ 注意

組立て上の注意

- 組立てる前に、必ずこの取扱説明書をよく読み「組立て方」に従って正しく組立ててください。
- 組立てる前に、部品が揃っているか確認してください。
- 組立てる時に、部品などを幼児や子供の手の届く場所に放置しないでください。
- 組立てる時に、部品の端部などでけがをしたり、指をはさまないように充分注意してください。
- 部品に破損や不具合などがある場合は、そのまま使用せず、弊社お客様相談室まで連絡してください。
- 組立ては、水平で平らな場所で行なってください。また、床面がキズつかないようにダンボールなどを敷いて行ってください。
- 電動ドライバーなど電動工具の使用はお止めください。
- 設置する場所の近くで組立てることをおすすめします。
- 本製品は、2人以上で組立てることをおすすめします。

使用上の注意

- 本製品は屋内専用です。屋外での使用はお止めください。また本来の用途以外での使用はお止めください。
- 各部がしっかり組立てられていることを確認した上で使用してください。組立てが不十分なまま使用すると非常に危険です。
- 水平でない場所・段差のある場所・不安定な場所での使用はお止めください。
- ストーブなど熱機器や火気のそばでの使用はお止めください。
- 高温多湿な場所での使用はお止めください。
- 直射日光など紫外線が当たる場所での使用はお止めください。
- フローリングなどキズが付きやすい床面で使用する場合、敷物などを敷いて床面を保護してください。
- じゅうたんの上や畳などやわらかい床では荷重でしずんだり、設置する場所によってはへこみや跡がつくことがあります。そのような場合は、敷物や当て板を敷いて使用してください。
- クッションフロア材（塩化ビニル樹脂）の上で使用する場合、環境（長時間同じ場所での固定・紫外線のあたる場所・温度の高い場所など）によっては、色移り（移行）現象によりクッションフロア材の表面が変色する場合があります。
- 壁などとの接触を避け、少し離して（約10cm程度）使用してください。密着していると色移りして変色したり壁材が浮いてはがれたりする場合があります。
- ものをのせる時は、荷重が一点に集中しないように均等にのせてください。また、耐荷重を超えるものをのせないでください。
- 加熱したべ・湯沸かし・熱湯の入ったコップなどを直接置かないでください。
- AV機器・パソコン類などの家電製品を設置する場合は、その取扱説明書に従って周囲に十分な隙間を確保して通気を良くしてください。家電製品の故障や火災の原因となります。
- ビニールクロス（塩化ビニル樹脂）を使用する時は、色移りや変色の原因になりますので定期的にビニールクロスをはがして、乾いたやわらかい布で置いた場所やビニールクロスを拭いてください。
- 湿ったものや濡れたものを置いた後は、水分を放置せずすぐに拭取ってください。
- 本体にのぼったり、よりかかったり・座ったり・踏み台としての使用はお止めください。また、本体に手をいたり、つかまって立ち上がったたりしないでください。特に幼児や子供には注意してください。
- 本体を移動する時は、引きずらないでください。床面をキズつける原因になります。
- 本体を移動する時は、置いてあるものを全ておろしてからしっかり持って移動してください。
- 開梱時に、においが気になる場合は部屋の換気をしたり、風通しの良いところにしてしばらく置いてから使用してください。
- 使用中に、破損・変形・異音が生じた場合はただちに使用をお止めください。

お手入れの方法

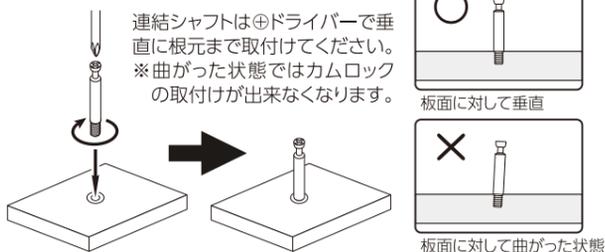
- 定期的に各部がゆるんでいないか点検してください。
- 汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。また、汚れがひどい時は、やわらかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、それを固くしぼったもので汚れを落としてください。その後、もう一度乾いたやわらかい布で拭いて水分を取り除いてください。
- ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などの使用はお止めください。表面のはがれや変色の原因になります。また、化学雑巾やクリーナーなど化学薬品を含むものを使用する時は、その注意書きに従ってください。

電動ドライバーなど、電動工具の使用はお止めください。
部品の変形や破損の原因になります。組立てる時やねじの締め直しをする時は、**必ず手動の工具を使用してください。**

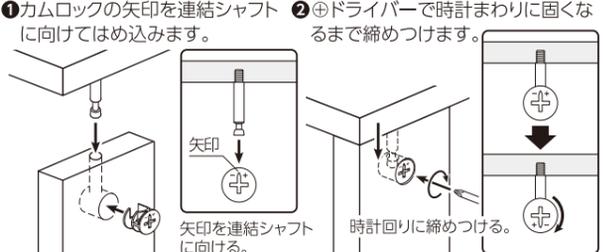
本製品は、ねじを用いて連結している商品です。使用を続けてゆく中でゆるみが発生する場合があります。ゆるみが発生している状態で使用していると、連結部がおれたりはずれたりする原因になります。安全に使用していただくために、定期的な締め直しをお願いします。

連結シャフトとカムロックの取付け方

■連結シャフトの取付け方



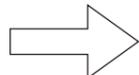
■カムロックの取付け方



組立てのポイント

最初に**全てのねじを仮留め**してから**最後に全てのねじをしっかりと締める**。

ねじを7～8割ぐらい仮留めする。



ねじをしっかりと締める。



※ねじを最初からきつく締めると、他のねじの位置が合わなくなり、組立てができなくなります。また、全体がゆがむ原因にもなるため、最初はねじを仮留めにして、最後に全てのねじをしっかりと締めるようにしてください。

DOSHISHA

ビスカーナ テレビボード 引き出し(120W・150W)

取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。尚、お読みになられた後もいつでも見られるように大切に保存してください。

品番	組立てサイズ(cm)			耐荷重(kg)*			
	幅	奥行	高さ	引き出し(一杯あたり)	固定棚(一枚あたり)	可動棚(一枚あたり)	全体
BC120H-TV	(約)120	(約)30	(約)40	3	20	5	91
BC150H-TV	(約)150						

*1 耐荷重の値は、均等に荷重をかけた場合の値です。耐荷重は測定値であり、この値を保証するものではありません。

内容明細

内容物を下記の明細に照らし合わせて、組立てる前にご確認ください。

部品名	サイドフレーム(左)	センターフレーム	サイドフレーム(右)	連結フレーム(長)	連結フレーム(短)	天板
部品図						
数量	1	1	1	4	4	1

部品名	底板	側幕板(左)	側幕板(右)	中板	向幕板	固定棚(長)
部品図						
数量	1	1	1	1	1	1

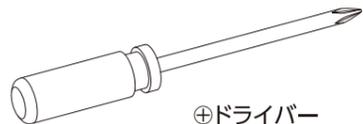
部品名	固定棚(短)	可動棚	左前板	側板(左)	側板(右)	向板
部品図						
数量	2	1	1	2	2	2

部品名	引き出し用底板	右前板	連結シャフト(A1)	カムロック(A2)	木ダボ(B)	ねじ(C)
部品図						
数量	2	1	28(+予備1)	28(+予備1)	12	16

部品名	ねじ(D)	レール(E)	ねじ(F)	ねじ(G)	棚ダボ(H)	取っ手(I)
部品図						
数量	2	4	8	16	4(+予備1)	2

部品名	ねじ(J)
部品図	
数量	16

必要な工具



Ⓧドライバーをご用意ください。

株式会社ドウシシャ

お客様相談室

〒140-0011 東京都品川区東大井1-8-10

0120-104-481

【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】

※商品名・品番をご確認の上、お電話ください。
※電話の際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、予めご了承ください。

ドウシシャ

検索

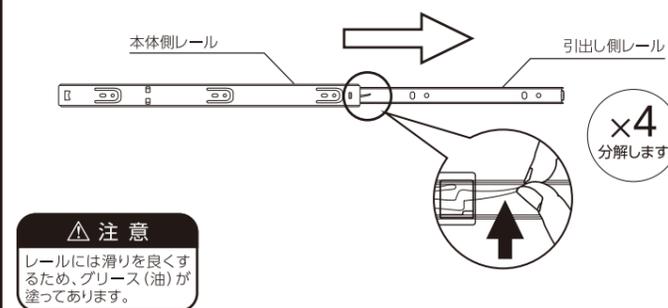
MADE IN CHINA

Lot No,

組立て方 ※イラストは150Wです。120Wも同じ要領で組立ててください。 ※組立て方は引き出しが左側の説明ですが、引き出しを右側にする場合は、サイドフレームの左右・センターフレームの左面右面を逆にすると組立てることができます。

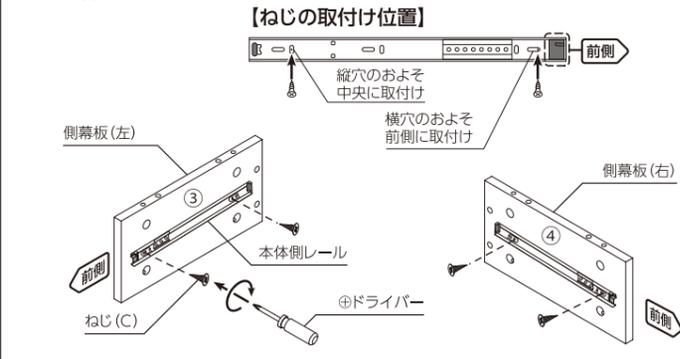
1 レールの分解

セットされているレール(E)を本体側と引き出し側に引き出して分解します。引き出す際は、図のようにピンを押し上げてください。



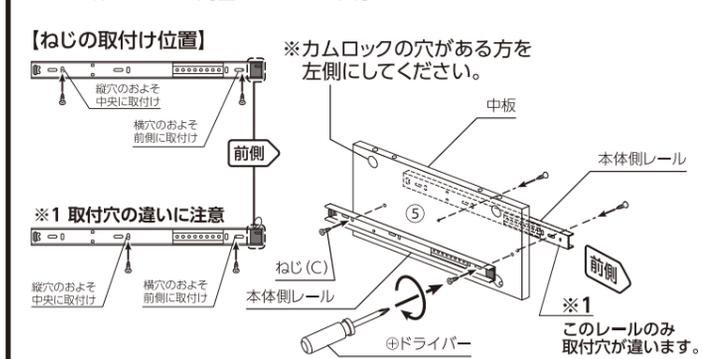
2 レールの取付け その1

1で分解した本体側レールをねじ(C)で側幕板に仮留めした後にしっかり締めます。



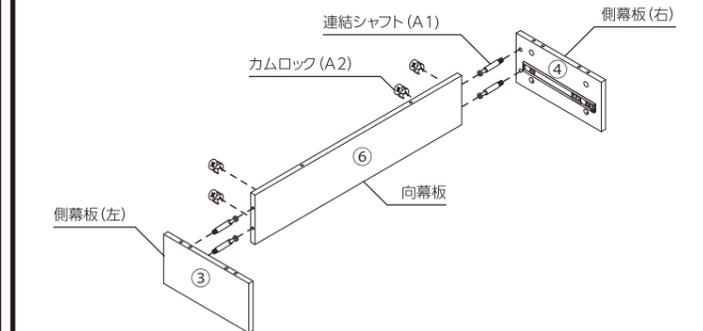
3 レールの取付け その2

1で分解した本体側レールをねじ(C)で中板に仮留めした後にしっかり締めます。※両面にレールを取付けます。



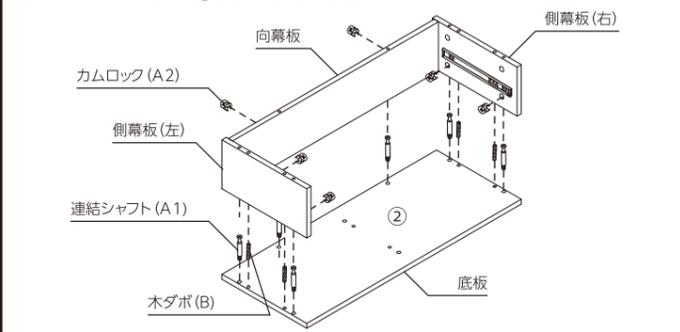
4 袖本体の組立て その1

向幕板に連結シャフト(A1)とカムロック(A2)で2で組立てた側幕板(左・右)を取付けます。※連結シャフト(A1)とカムロック(A2)は「連結シャフトとカムロックの取付け方」を参照してください。



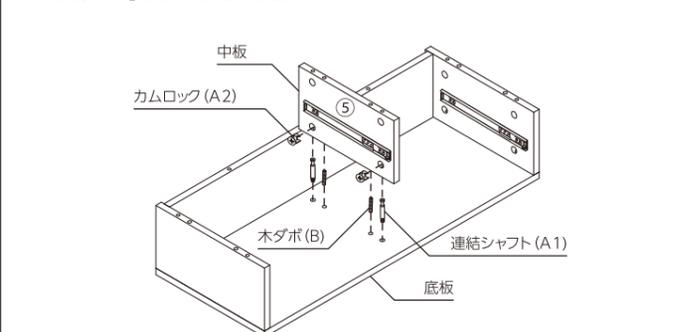
5 袖本体の組立て その2

底板に連結シャフト(A1)・カムロック(A2)・木ダボ(B)で4で組立てた向幕板と側幕板を取付けます。※連結シャフト(A1)とカムロック(A2)は「連結シャフトとカムロックの取付け方」を参照してください。



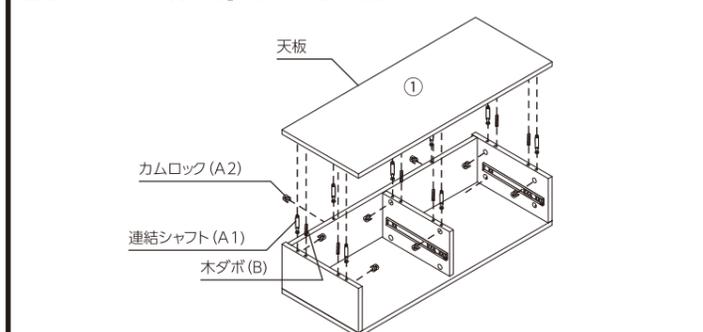
6 袖本体の組立て その3

底板に連結シャフト(A1)・カムロック(A2)・木ダボ(B)で5で組立てた中板を取付けます。※連結シャフト(A1)とカムロック(A2)は「連結シャフトとカムロックの取付け方」を参照してください。



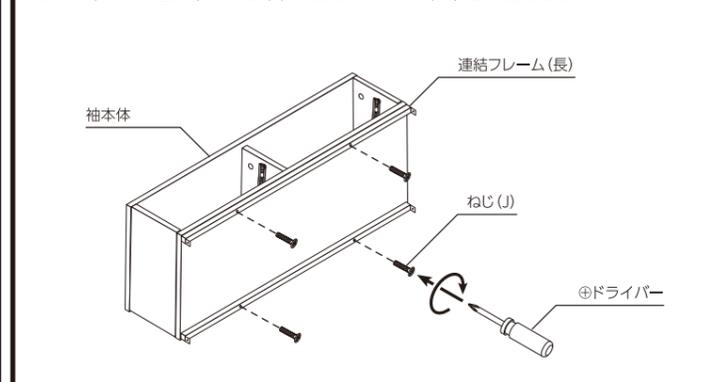
7 袖本体の組立て その4

6で組立てた向幕板・中板・側幕板に連結シャフト(A1)・カムロック(A2)・木ダボ(B)で天板を取付けます。※連結シャフト(A1)とカムロック(A2)は「連結シャフトとカムロックの取付け方」を参照してください。



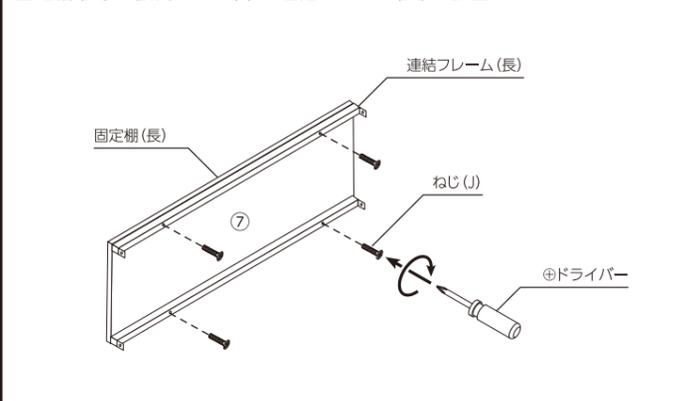
8 連結フレーム(長)の取付け その1

袖本体(底板の裏側)にねじ(J)で連結フレーム(長)を仮留めします。



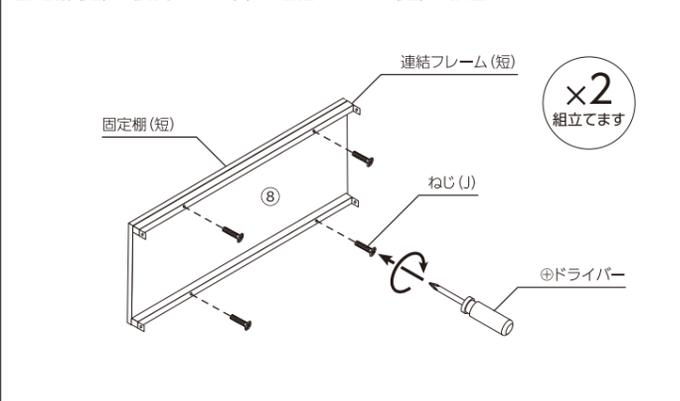
9 連結フレーム(長)の取付け その2

固定棚(長)の裏側にねじ(J)で連結フレーム(長)を仮留めします。



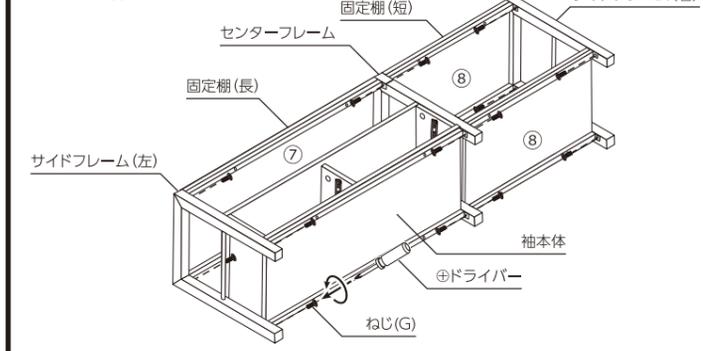
10 連結フレーム(短)の取付け

固定棚(短)の裏側にねじ(J)で連結フレーム(短)を仮留めします。



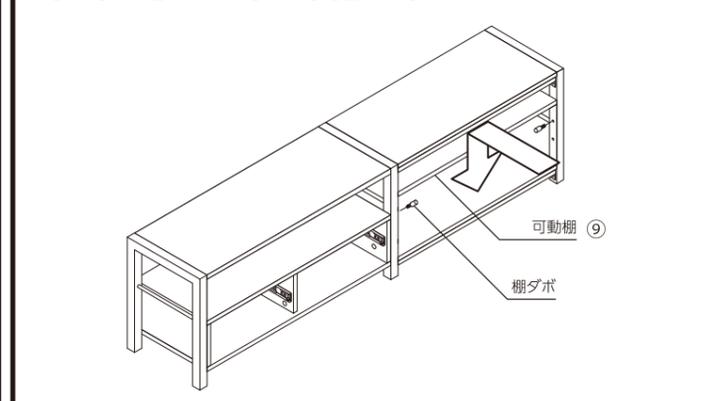
11 サイドフレーム(左・右)とセンターフレームの取付け

今まで組立てた袖本体と固定棚(長)・固定棚(短)にねじ(G)でサイドフレーム(左・右)とセンターフレームを仮留めします。最後に今まで仮留めした全てのねじをしっかり締めます。



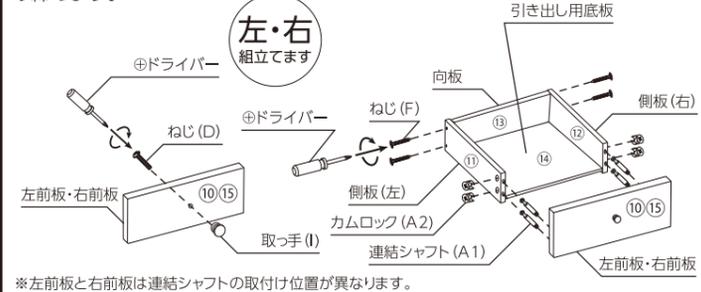
12 可動棚の取付け

任意の高さに棚ダボを取付けて可動棚を取付けます。



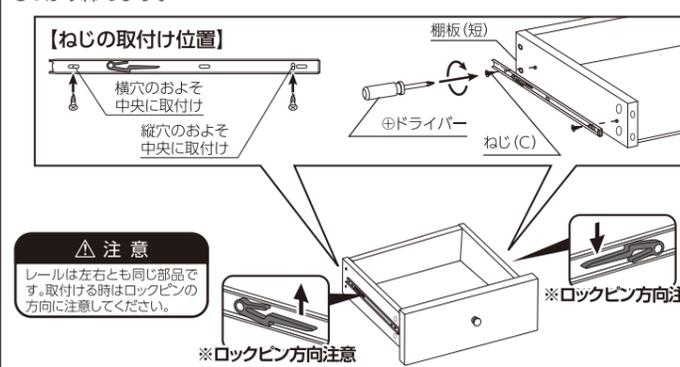
13 引き出しの組立て その1

左前板・右前板にねじ(D)で取っ手(I)をしっかり締めます。引き出し用底板をはさむように側板と向板をねじ(F)で仮留めし、前板を連結シャフト(A1)とカムロック(A2)で側板に取付けます。※連結シャフト(A1)とカムロック(A2)は「連結シャフトとカムロックの取付け方」を参照してください。最後に仮留めしたねじ(F)をしっかり締めます。



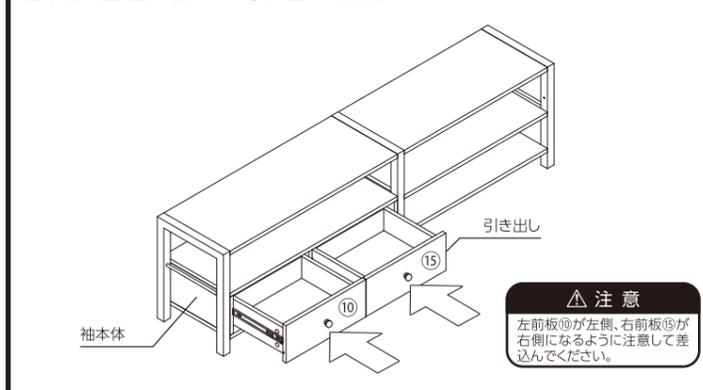
14 引き出しの組立て その2

1で分解した引き出し側レールをねじ(C)で側板に仮留めした後にしっかり締めます。



15 引き出しの取付け

袖本体に13・14で組立てた引き出しを差込みます。



16 完成

全ての組立て作業が終了したら、もう一度取付け箇所にはゆるみがないか確認します。ゆるみがある場合は、しっかり締め直しします。

